

2021年卒
Vol. 6

4月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2021 学生モニター調査結果 (2020年4月発行)

採用広報開始から1カ月。新型コロナウイルスの感染拡大により、少なからぬ混乱生じている中で、就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、就職活動状況について調査を行った。取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4月1日時点の内定状況

○内定率は34.7%。前年同期実績(26.4%)を8.3ポイント上回る

2. エントリー状況、選考試験受験状況

○一人あたりのエントリー社数の平均は24.6社。前年同期調査(25.6社)をやや下回る

○ES提出社数は平均10.4社。筆記7.0社、面接3.9社。いずれも前年を上回る

3. WEBセミナー視聴状況

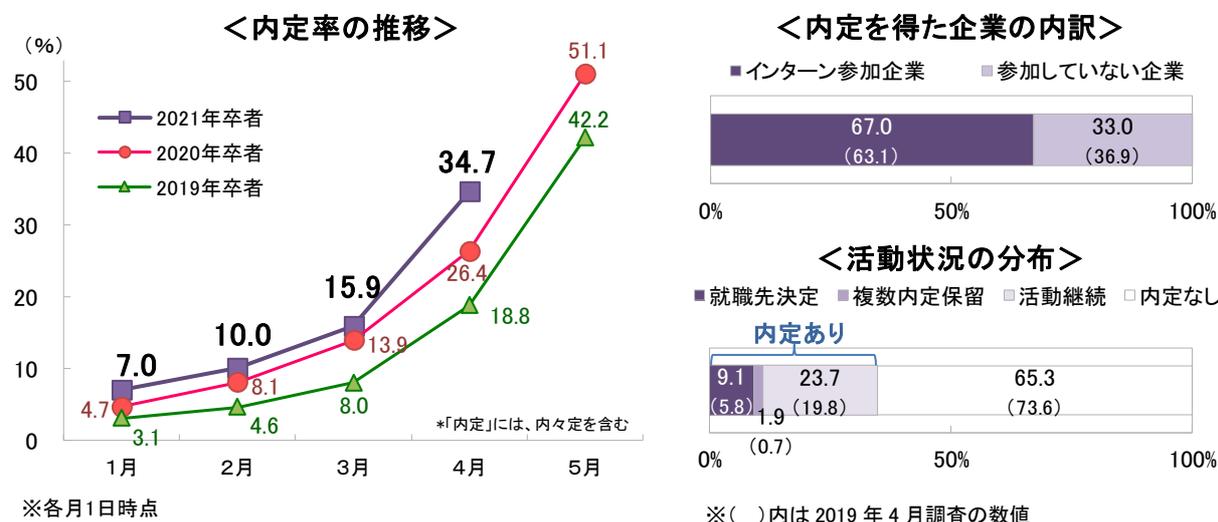
○視聴経験者は8割超(85.8%)。ライブ配信は平均6.7社、オンデマンド配信は4.8社視聴

1. 4月1日時点の内定状況

4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の34.7%。先月(3月1日)の15.9%から1カ月間で18.8ポイント増と、急激な伸びを見せた。前年同期(26.4%)を、8.3ポイント上回る高水準だ。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、就職活動の停滞が懸念されているが、現状ではむしろ前年以上に早いペースで内定を獲得している様子が見て取れる。

内定を得た企業の7割近く(67.0%)がインターンシップに参加した企業。イベント自粛要請で説明会の開催が制限される中、インターンシップなどでの早期接触学生の囲い込みが進んだと見られる。ただ、感染拡大の収束が見えない中、今後内定率がどのように変化するかは不透明だ。

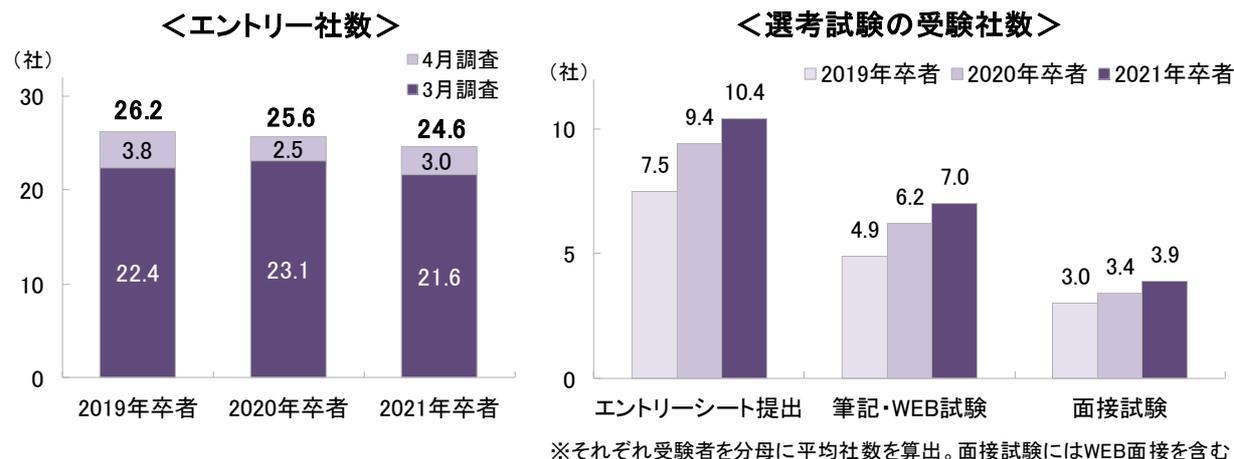
内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは少数で、大半は内定を保持しながら就職活動を継続している。就活終了者(就職先決定)は全体の1割程度。



2. エントリー状況、選考試験受験状況

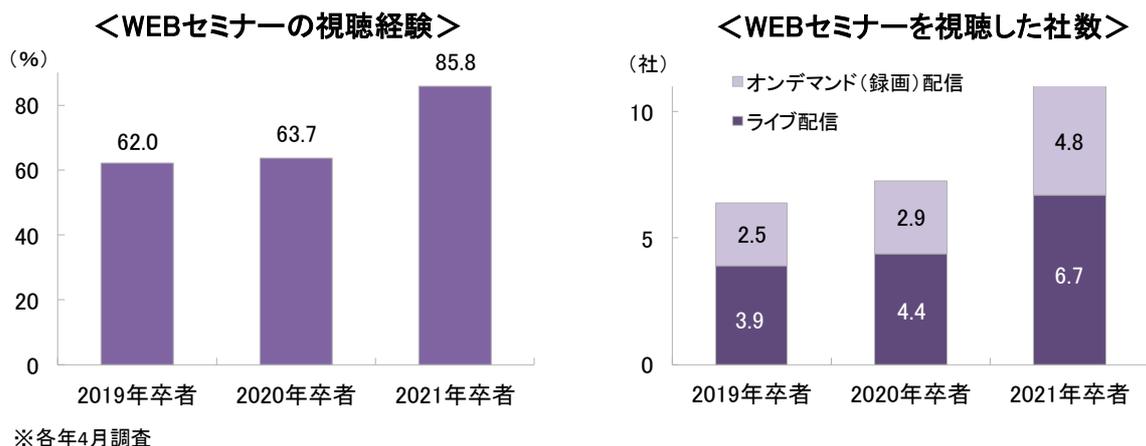
活動量を見てみる。まず一人あたりのエントリー社数の平均は24.6社。前年同期実績（25.6社）をやや下回る。

選考試験の社数を見ると、ES提出社数は10.4社。学生の企業研究が滞ることが予想されたが、実態は前年を上回るペースで提出していた。筆記試験、面接試験についても、それぞれ前年同期実績を上回る。今回の新型コロナウイルスの問題があっても、4月の調査時点では早期化の流れに歯止めがかかる様子は見られない。



3. WEBセミナー視聴状況

会社説明会の中止や延期が相次いだことで、WEBセミナーの視聴は大幅に伸びている。視聴経験率は8割を超えた（85.8%）。視聴した社数は、ライブ配信で平均6.7社、オンデマンド配信は4.8社と、例年にない社数となった。



調査概要

- 調査対象：2021年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,299人（文系男子416人、文系女子386人、理系男子352人、理系女子145人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2020年4月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活2021学生モニター